

平成29年度事業報告書

29年 4月 1日 から 30年 3月31日 まで

特定非営利活動法人さんかくナビ

1 事業実施の成果

別紙参照

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額（千円）
男女共同参画社会推進事業	生活困窮者支援（相談）	平成29年4月1日～平成30年3月31日	コールセンター（岡山・広島・山口）	45人	相談者 人数不特定	34,362
女性の就業・起業支援事業	人材育成	平成29年4月1日～平成30年3月31日	弊社事務所	3人	常勤雇用者	2,130
女性の精神的自立支援事業	カウンセリング・キャリアアドバイザー	平成29年4月1日～平成30年3月31日	弊社事務所 居宅	専門員2人 およびコーディネーター1人 電話相談員10人 スタッフ10人	女性相談者 16人	1,591
DV被害者支援事業	シェルターステップハウス、相談・自立支援	平成29年4月1日～平成30年3月31日	弊社設置居宅、	8人	DV被害者 人数不特定	2,247
子育て支援事業	学習支援・心のケア	平成29年4月1日～平成30年3月31日	弊社事務所 居宅	支援者8人 およびコーディネーター1人	DV被害者の子ども 9人	1,557

(2) その他の事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	支出額（千円）

第一号議案 2019年度事業報告(案)

- 1、一般社団法人社会的包摂サポートセンターとよりそいホットライン事業を委託契約を結び、本事務所を中国地域センターとし、岡山コールセンター・広島コールセンター・山口コールセンターを設置し相談員50余名、CO3名、事務員1名を雇用して安定的な相談対応の整備に努めた。

この事業の目的である、①分野横断的な民主運営の為に様々な団体からの構成とした。

②行政との連携体制についてはDV事業については岡山県・岡山市・赤磐市の委託事業を受けた実績がある

③分野的・包括てきな支援の実践は、地域内の総合的な相談実績の経験をもっている。

④広域連携が可能な事務機能を有する実施体制も経理顧問・社労士などとの顧問契約を結び適切な経理事務・管理機能も十分に果たしている。

また、地域センターに④ライン⑧ライン③番ライン②外国ラインの設置にも寄与している。

- 2、自立支援事業、心身の回復のためにカウンセリングも実施、同伴者子ども就業については将来を見据えた就業の為にキャリアカウンセリングも実施して希望の職種に就けた。サバイバーが資格を獲得するための学費の援助は全国シェルターネットの【PMJ基金】活用、岡山市の【サンフラワー基金】の受給、高級ブランド「【セオリ】からの洋服提供

支援者から頂いた小物雑貨をラッピングして岡山県男女共同参画センターのフェスティバルも好例となり、収益をクリスマスプレゼントをして喜ばれた。

- 3、性暴力の根絶に向けて「性暴力被害者支援体制の強化」に向けて性暴力禁止法の制定に意見を発信・共有、全国連絡会に出席して調査研究を進めてきた。

- 4、DV被害支援に関わる人材は岡山県の人材育成事業で1人雇用できたが、家の事情によりフルタイムにならなくて事務作業には支障ができた。シェルター入居者の子ども支援にむけてはパートタイム

雇用で必要な支援ができた。

- 5、休日電話 この休日電話だから聞いて貰えるとリービターが何人かいる。しかし、それぞれの電話相談員がこの電話がそれだけの役割が良いのかと思ってもあったが

事例検討などの研修が必要ではなかったのか？ また、架電も減少気味で一定の役割を終えた感じはする。

- 6、シェルター、ステップハウス運営について 民間ならではの緩い規制でしたが事件・事故もなく運営ができています。デートDV被害者の大学生、家族からの暴力被害の大学生などは、安全を保ちながら通学やアルバイトして次のステップに歩みだしている。

- 7、DV被害者支援団体育成事業 県外のシェルター団体にナビのスタッフと同行、東京で開催された「第11回全国シェルターシンポ」などの研修の機会を確保してきた。「あいネット倉敷」については自助グループ支援のための

居場所運営にも財政的な支援を続けて一定の成果を得られている。

8、女性と子どものこころな回復支援事業 岡山市の補助金で「ワールドツアー」と名づけて、毎年好評の「フラワーアレンジメント・ハワイ編」「私の自慢料理、エスニック編」

クリスマス会はゲーム他楽器で楽しんだ。学習支援の学生も普段は出逢いない母親や兄弟との交流もできて有意義だった。

9、子どもの心の回復支援事業も10年近く続いている。学習支援者の学生も先輩から後輩へと引き継がれているのは、他の事業所では羨ましがられることでもある。

今年度から始めた子どもたちも最初はよそよそしくて学生も戸惑っていたが、兄弟げんかで殴りあっているのを本気で制してからは信頼ができていた。

今では、学生の肩車を喜んでいる。学生も一人っ子で育ったので歳の離れた弟のようで嬉しいと言っていたのが、支援が一方的でなく支援者にも喜ばれていることを

嬉しく思った。学生もこの支援の中から「福祉」に寄って助けられて自立ができている学びがあり、教員から福祉事業に希望を変えた現実もある。

特定非営利活動法人さんかくナビ(NPO法人法上の活動計算書)

活動計算書

29年 4月 1日から30年 3月31日まで

(単位：円)

科目	特定非営利活動に係る事業	その他の事業	合計
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費	265,000		265,000
賛助会員受取会費	10,000		10,000
参加会員受取会費	15,000		15,000
2. 受取寄付金			
受取寄付金	599,430		599,430
3. 受取助成金等			
受取入会金	36,000		36,000
4. 事業収益			
DV被害者自立支援人材育成	697,741		697,741
DV休日電話相談	1,591,500		1,591,500
DV被害者民間シェルター運営	450,000		450,000
DV被害者等自立支援	5,920,363		5,920,363
DVサポートコーディネート	686,000		686,000
DV被害者支援団体育成・強化	1,830,893		1,830,893
寄り添いホットライン	34,362,898		34,362,898
5. その他収益			
受取利息	79		79
雑収入	68,535		68,535
経常収益計	46,533,439	0	46,533,439
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	7,190,863		7,190,863
臨時雇賃金	18,462,050		18,462,050
法定福利費	713,401		713,401
通勤費	459,660		459,660
福利厚生費	40,641		40,641
人件費計	26,866,615	0	26,866,615
(2) その他経費			
諸謝金	4,155,187		4,155,187
印刷製本費	4,230		4,230
会議費	29,901		29,901
旅費交通費	1,263,543		1,263,543
通信運搬費	902,547		902,547
消耗品費	575,027		575,027
修繕費	4,320		4,320
水道光熱費	673,529		673,529
地代家賃	2,942,238		2,942,238
賃借料	25,920		25,920
保険料	58,210		58,210
諸会費	33,000		33,000
租税公課	2,613,474		2,613,474
研修費	128,626		128,626
支払手数料	949,155		949,155
会場費	241,087		241,087
新聞図書費	50,188		50,188
食糧費	81,926		81,926
雑費	288,802		288,802
その他経費計	15,020,910	0	15,020,910
事業費計	41,887,525	0	41,887,525
2. 管理費			
(1) 人件費			
役員報酬	3,456,000		3,456,000
給料手当	378,467		378,467

特定非営利活動法人さんかくナビ(NPO法人法上の活動計算書)

活動計算書

29年 4月 1日から30年 3月31日まで

(単位：円)

科目	特定非営利活動に係る事業	その他の事業	合計
法定福利費	37,548		37,548
人件費計	3,872,015	0	3,872,015
(2) その他経費			
旅費交通費	32,365		32,365
通信運搬費	25,618		25,618
消耗品費	1,281		1,281
水道光熱費	16,337		16,337
地代家賃	58,488		58,488
租税公課	23,530		23,530
支払手数料	15,751		15,751
雑費	14,591		14,591
その他経費計	187,961	0	187,961
管理費計	4,059,976	0	4,059,976
経常費用計	45,947,501	0	45,947,501
当期経常増減額	585,938	0	585,938
Ⅲ 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
Ⅳ 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
Ⅴ 経理区分振替額			
経理区分振替額			0
当期正味財産増減額	585,938	0	585,938
前期繰越正味財産額			△ 351,554
次期繰越正味財産額			234,384

(注) 特定非営利活動促進法第28条第1項の収支計算書を活動計算書と呼んでいます。

貸借対照表

30年 3月31日現在

(単位：円)

科目	金額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金	5,311,886	
未収金	3,353	
前払費用	402,130	
流動資産合計		5,717,369
2. 固定資産		
(1) 有形固定資産		
有形固定資産計	0	
(2) 無形固定資産		
無形固定資産計	0	
(3) 投資その他の資産		
保証金	507,500	
投資その他の資産計	507,500	
固定資産合計		507,500
資産合計		6,224,869
II 負債の部		
1. 流動負債		
未払金	3,430,377	
前受金	19,390	
未払消費税等	1,204,200	
預り金	50,610	
流動負債合計		4,704,577
2. 固定負債		
長期借入金	1,285,908	
固定負債合計		1,285,908
負債合計		5,990,485
III 正味財産の部		
1. 正味財産		
前期繰越正味財産		△ 351,554
当期正味財産増減額		585,938
正味財産合計		234,384
負債及び正味財産合計		6,224,869

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 NPO法人会計基準協議会）によっています。同基準では、特定非営利活動促進法第28条第1項の収支計算書を活動計算書と呼んでいます。

(1) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 固定資産の増減内訳

(単位：円)

科 目	期首取得価額	取 得	減 少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産				0		0
無形固定資産				0		0
投資その他の資産						
保証金	507,500	0	0	507,500		507,500
合計	507,500	0	0	507,500	0	507,500

3. 借入金を増減内訳

(単位：円)

科 目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
長期借入金	2,412,842	464,120	1,591,054	1,285,908
合計	2,412,842	464,120	1,591,054	1,285,908

財産目録

30年 3月31日現在

(単位：円)

科目	金額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金		
小口現金	36,702	
中国銀行/清輝橋支店①	423,079	
中国銀行/清輝橋支店②	162,124	
中国銀行/清輝橋支店③	426,104	
中国銀行/清輝橋支店 (よりそい)	4,084,886	
三井住友銀行/岡山支店	38,657	
ゆうちょ銀行	542	
ゆうちょ銀行/振替口座	139,792	
未収金		
その他	3,353	
前払費用		
ケアコミュニティ(株)/4月分家賃	90,000	
大東建物管理(株)/4月分家賃	64,600	
新本靖絵/4月分家賃	53,000	
侑綜合/4月分家賃	73,132	
射場秀雄/4月分家賃	30,000	
その他/4月分駐車場代他	91,398	
流動資産合計		5,717,369
2. 固定資産		
(1) 有形固定資産		
有形固定資産計	0	
(2) 無形固定資産		
無形固定資産計	0	
(3) 投資その他の資産		
保証金 (事務所)	159,000	
保証金 (シェルターネット)	326,500	
保証金 (駐車場)	22,000	
投資その他の資産計	507,500	
固定資産合計		507,500
資産合計		6,224,869
II 負債の部		
1. 流動負債		
未払金		
3月分給与	2,883,870	
社会保険料	144,076	
その他/事務所経費	402,431	
未払消費税等	1,204,200	
前受金	19,390	
預り金	50,610	
流動負債合計		4,704,577
2. 固定負債		
長期借入金	1,285,908	
固定負債合計		1,285,908
負債合計		5,990,485
正味財産		234,384

前事業年度の年間役員名簿

(平成29年 4月 1日から平成30年 3月31日)

特定非営利活動法人さんかくナビ

No.	役職名	氏 名	住 所 又 は 居 所	就 任 期 間	報 酬 を 受 け た 期 間
1	理事長	貝原 己代子		平成29年4月1日 ～ 30年3月31日	平成29年4月1日 ～ 30年3月31日
2	副理事長	藤原 昌弘		平成29年4月1日 ～ 30年3月31日	報酬無し
3	理事	小郷 香		平成29年4月1日 ～ 30年3月31日	報酬無し
4	同	高村 幸子		平成29年4月1日 ～ 30年3月31日	報酬無し
5	監事	清野 幸代		平成29年4月1日 ～ 30年3月31日	報酬無し
6	同	國田 郁美		平成29年4月1日 ～ 30年3月31日	報酬無し

【備考】

- 1 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。
- 2 「役職名」の欄には、理事、監事又は理事の職名を定めている場合はその職名の別を記載する。
- 3 「住所又は居所」の欄には、各役員住所又は居所を証する書類の記載どおりに記載する。
- 4 「就任期間」の欄には、左に記載された役員全員についてそれぞれ記載し、「報酬を受けた期間」の欄については、報酬を受けたことがある役員はその期間を、報酬を受けなかった役員については「報酬無し」とそれぞれ記載する。